

5 形のかわる言葉①

学 年	
組	
名 前	

① 「 」の中で、文に合う言葉を○でかこみましよう。
① 朝になると、「さわやかだ・さわやかな」風がふくようになった。

② 朝「早い・早く」起きて、さんぽをすることにしました。

☆様子を表す言葉は使い方によって形が変わる。文全体を読んで、びつたりの使い方を見つけよう。

③ 早朝の学校は、とても「しずかな・しずかだ」。

④ 秋になり、山々が「美しく・美しい」色にかわってきた。

⑤ 学校にあるピアノの音色は、とても「きれいな・きれいだ」。

⑥ ノートを「ていねいに・ていねいだ」使いました。

⑦ 車の「まぶしく・まぶしい」光。

⑧ 「かわいい・かわいく」子犬をもらった。

⑨ 「青い・青く」空に、「小さい・小さく」雲がかんでいる。

⑩ 「かすかな・かすかだ」音にも、びっくりしてしまふ。

5 形のかわる言葉②

学 年
組
名 前

- ① 「」の言葉を文に合う言い方になおしましょう。
- ① 「きれいだ」
夏になると「きれいな」花がたくさんさく。
- ② 「せまい」
山道を進むにつれ、道がどんどん「せまく」
なってきた。
- ③ 「暗い」
冬になると、「暗く」なるのが早い。
- ④ 「くわしい」
この言葉の意味を「くわしく」調べた。
- ⑤ 「青白い」
ぐあいが悪いわるのか、顔色が「青白く」見える。
- ⑥ 「悲しい」
本を読んだら、「悲しく」なって涙なみだが出てきた。
- ⑦ 「しずかだ」
みんな図書室で「しずかに」本を読んでいる。
- ⑧ 「まぶしい」
夏の太陽が、「まぶしく」光っている。

☆様子を表す言葉は、文章をゆたかにし、よりわかりやすくするのっている形から変化させて使うので注意しよう。